

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 月 日

1 事業名	広聴事業	コード	162203
-------	------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 広報情報課	作成者 伊藤和彦
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政 策	総合計画の推進に向けて	施 策	開かれた市政運営の推進
		予算科目	広聴事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市民総参加のまちづくりを推進するため、市民との対話や取材、アンケートなどにより市民意見、要望を聴取し、事業施策に反映させる。	
目的	対象者	市民全般
	意 図	市民ニーズを把握し市民総参加のまちづくりを推進する

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>市政懇談会の開催</p> <p>市主催 ・「市政懇談会」…2月6日 市役所9階大会議室、 2月9日 カルチャーセンター、 2月12日 川岸公民館、2月13日 長地公民館、2月14日 湊公民館、 2月15日 市役所9階大会議室（大雪のため中止）</p> <p>他団体主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三団体（連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブ連合会）との市政懇談会」…11月21日 ・「区長OB会との市政懇談会」…5月1日 <p>市政モニターの委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募等により10名を選出し、通年で市政に関する意見、要望などをもらった。 <p>施設見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会と連携を図り施設見学会を行なった。 <p>市民提案ボックス、メール等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々増加の傾向にあるインターネットによる市長Eメールや問い合わせをはじめ、市民提案ボックスなど活用するなど、広報情報課を情報受発信の窓口として一本化し、きめ細かい対応に努めた。 <p>報道機関の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記者会見による積極的な情報発信のほか、情報番組への出演等による事業PRに努めた。 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日開催を日曜日開催に変更した。 ・市政懇談会に併せて、環境課と連携しごみの分別方法の説明等を行なった。また、参加者の増員を図り、生涯学習グループの協力を仰ぎ、来場者へ飲み物の提供を行った。 	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	市政懇談会の開催数			単位	回
実績値	6	6	5		
*指標の説明	広く市民の声を聞く機会として設けているものであり、広聴の代表的な事業				
② 成果指標（指標名）	市政懇談会の参加人数			単位	人
目標値	420	440	470		
実績値	432	466	339		
達成度	102.9%	105.9%	72.1%		
*指標の説明	市政への関心を高めるためにも多くの参加者を募っている。				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値を参考に設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	394,617	379,431	15,876	463,000
経常経費	394,617	379,431	15,876	463,000
臨時的経費	0	0	0	
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	32,000,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	4.00
③ 合計コスト(①+②)	3,594,617	3,579,431	3,215,876	32,463,000
前年度比		99.6%	89.8%	1009.5%
財源	3,594,617	3,579,431	3,215,876	32,463,000
内訳				
一般財源	3,594,617	3,579,431	3,215,876	32,463,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	599,103	596,572	643,175	
前年度比		99.6%	107.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 72.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 72.1%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数、若年層を増やすこと。 ・情報化により、電子メールを使っでの質問・要望が増加している。 ・シルキーチャンネルの普及により、家庭などに居ながらにして、懇談会の内容が視聴できる。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所、時間、内容、対象者等を考慮するとともに、他とのコラボレーションを検討する。 	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--